

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

イマジン ローターリー



クラブの未来を描き
ロータリーを楽しもう

RI会長 ジェニファーE・ジョーンズ 2022~2023

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2710 第31回例会 2023. 3. 30 晴

点 鐘：須藤 隆 会長

進 行：朝月真次郎 SAA

飯島由美 副SAA

ソング：それでこそロータリー

会長挨拶

須藤 隆 会長

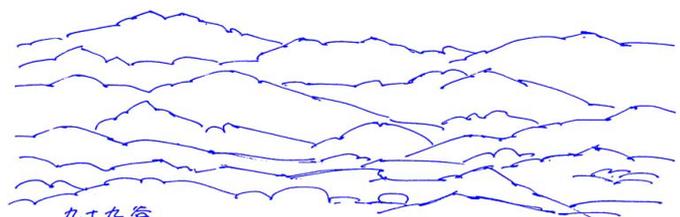


皆さんこんにちは。皆さんお花見はされましたか？桜の見ごろも今週末までかもしれません。私は昨日30周年記念事業で植樹した中央公民館前の桜を見てきました。今が満開です。例会終了後に是非皆さんと一緒に鑑賞したいと思います。

さて、今回も野球の話で恐縮ですが、ワールドベースボールクラシック(WBC)での大谷選手の活躍について話してみたいと思います。準決勝、決勝とも素晴らしいゲームで、漫画の世界を超えるようなドラマチックな内容とチーム一丸となった真剣勝負に感動しました。その中でも大谷選手の活躍は目を見張るものがあり、大変印象深く感じた三つのシー

ンを、私の視点から紹介したいと思います。その一つ目は、準決勝のメキシコ戦で5対4とリードされている9回裏、先頭打者で大谷が2塁打を打って、ヘルメットをかなぐり捨てて、2塁ベースに到達した、そこでのパフォーマンスです。彼は両手を上げ、大きな声でベンチに向かって2度3度叫びました。何を言っているかはテレビではわかりませんでした。が、「Come on、Come on続いて行こう！」と叫んでベンチ全員を鼓舞しているように思えました。今まで野球見て、このようなシーンは初めてで、さすが世界のメキシコのパフォーマンスと感心しました。二つ目が、試合前のチーム全員に対するミーティングで大谷選手が話した内容です。ここにその言葉をそのまま再現すると、「一つだけ、憧れるのを止めましょう。ファーストにゴールドシュミット、センターにマイク・トラウト、外野にムニー・ベッツがいるとか、野球をやっているならば誰もが聞いたことがある選手がいると思う。憧れてしまつては、彼らを超えられない。僕らは今日、彼らを超えるために、トップになるために来た。今日一日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけを考えていきましょう。さあ行こう！」です。私はこのスピーチにいたく感動しました。メジャーリーグのスーパースターが名を連ねる相手チームへの敬愛の気持ちを、この日だけは捨て、優勝を目指すことを呼びかけた素晴らしいスピーチだと思いました。大谷選手は、相手を尊敬する気持ちが強いと受け身になってしまう。負けないんだと言う強い

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



九十九谷

気持ちで行きたかったと話していました。3つ目が決勝戦の9回に大谷がマウンドに上がったときのシーンです。大谷は予選リーグの中国戦と準々決勝のイタリア戦でも登板していますが、その時とは別人のように気合の入った表情が見て取れました。一球、一球に全身全霊を込め、彼の気迫がテレビを見ていると伝わる感じがしていました。そして最後のバッターは、米国でもここ10年最高のバッターと言われているエンゼルスで同僚のトラウトです。固唾を飲んで見守りました。その彼を三振に打ち取った瞬間、大谷選手は小躍りし、グラブを振り投げ、帽子を投げ捨て、チーム全員と喜びを爆発させました。私たちも感動しました。私は大谷選手のコメントを聞いていると、常に謙虚で、他者を想う優しさにあふれ、選手としてだけでなく、人間としてだれからも好かれる大スターだとの思いを強くしました。まさに大谷選手は、「私たちロータリアンが大切にしている他者を思いやる気持ちを体現している」と感じたことを強調して会長挨拶とします。

会長報告

カールスバッドのハイヌーンロータリークラブから当クラブとの友好関係構築の申し出があり、来週の理事会にて具体的な対応を検討します。

幹事報告

相川恵津子 幹事



皆さんこんにちは。市役所通りの桜も満開となっていました。山下会員が本を出版されました。三枝会員もそうですし改めて素晴らしいお仲間に入れさせていただいていると感謝しております。栗原会員が

お休みの為、代わりにご報告します。こども食堂の件ですが、4月で5周年記念ということで、ロータリーの方から、マザー牧場の招待券100枚、花の鉢、高橋さんに幕を作っていただきました。広報に載せるということで岡田会員にお手配していただきました。来週7日お手伝いできる方は宜しくお願い致します。

1. 木更津東ロータリークラブ創立55周年記念式典のご案内
2. コーディネーターニュース4月号
3. 規定審議会改定のご案内
4. 2022-23年度2月期MCRレポート送付のお知らせ
5. パキスタン洪水救援基金ご協力御礼とご報告
6. 女性交流会のご案内
7. 地区ホームページにご意見箱を追加しました
8. 財団室ニュース4月号
9. 米山の賛助会員募集のお知らせ

卓話

『あるときのkamiko』

神子 恒 会員



こんにちは。最近読んでいる梅原猛さんの本の話と、色々な趣味がある中で、プロのライセンスを取得しているスキューバダイビングの話とそこから人生が広がっていった話をさせていただきました。



卓話

『人生の転機』

飯島由美 会員



こんにちは！本日は、諸先輩方を前に初の卓話をさせて頂くという事で何をお話しさせて頂いたらいいか悩みましたが、博識の皆さんに私が話せるのは自分自身の事について話す事が一番いいのではないかと思います。私の50年の人生を振り返った時に、私自身を変化させる出来事が2度ある事に気づきました。以前、耳にした事があったのですが、人には人生の中で2～3回の大きな転機が訪れる！！との事を聞いた事があります。人生の転機とは、これまで生活してきた環境から新しい環境に変化するようなきっかけです。大きな人生の転機は人生の中で何度も起こる事ではなく、またそれに気づかずに過ごしてしまう方もいらっしゃると思います。人生を変えるような大きな出来事は、その後起こる大きな転機に必要な「軌道修正」のために起きているようです。私には、私自身を変える大きな転機が2度起こりました。

まず1度目は、「高校在学時の交換留学」

・天羽高校在学時に姉妹都市でもあるアメリカのカールスバッド市に富津ロータリークラブを通して交

換留学をさせて頂きました。

2度目は、「会社設立」

・結婚後、主婦として16年間過ごしてきた私が、ある出来事をきっかけに父の会社を引継ぐ形で会社の代表となり新会社の設立に至りました。

今回は皆様に、1度目の転機について、私の誕生から交換留学までをお話しさせて頂きたいと思いません。

①私の誕生

父が働かせて頂き始めた当初、大佐和運送様が新たに自動車整備工場を千葉県旭市に出店するとの事で私の父が工場長として勤めさせて頂いていた中、1972年11月1日 旭市が私の誕生の地となりました。(前後中略)

②幼稚園時代

数年後、父が大佐和運送様より独立すると同時に木更津市岩根に引っ越し、そこで幼稚園時代を過ごしました。幼稚園より習い事で、クラシックバレエとピアノを始めました。小さい頃より体を動かすことの好きだった私にとってクラシックバレエは合っていたようですが、椅子に座って奏でるピアノは私には少し荷が重かったようです。(前後中略)

③小学校時代

私の小学校時代は、父が会社の工場を上総湊に新設した事により上総湊に移り住み楽しい小学校生活を送ると同時に幼稚園より習い始めたクラシックバレエを続け小学校6年生になりもう少し上手になりたく、東京にあります牧麻美バレエ団のオーディションをうけ東京まで通っておりました。

④中学校時代

中学校では私にとって本当に素晴らしい友人、恩師との出会い、そして部活動を通し様々な事を学ばせて頂きました。入学当初、部活動はクラシックバレエをやっていたので文科系でと思い茶道部に入りました。もともと運動が好きだった私には茶道部というのは少し物足りなさを感じながらの日々でしたが、半年を過ぎた頃ソフトボール部顧問より誘いがありソフトボール部に入る事になりました。キャッチボールもやった事がなかった私は、初めての入部と同時にキャチャーだったキャプテンとのキャ

ッチボールであまりのボールの速さにボールを取れず2球続けて顔面で受けてしまい鼻血を出してしまったという痛いデビューとなりました。当時、天羽中学校のソフトボール部は支部大会でなかなか長年王者だった佐貫中に勝てず県大会に出る事が出来ませんでした。県大会を目標に打倒佐貫中を掲げた私たちは、大きなミスをすれば100本ノック、グラウンドを走る等々厳しい練習を重ねました。ついに、私達の最後の夏の支部大会では悲願であった王者佐貫中を倒し、支部大会優勝、そして県大会へ出場することが出来ました。(前後中略)

⑤高校生時代

私の第一の転機でもある高校時代は、当時天羽高校にもソフトボール部があり全国に行くほどに強かったのも、中学校の時に何度か練習試合もしていました。そんな事もあり入試合格発表後、高校のソフトボール部顧問より電話を頂き勧誘されましたが、もうソフトボール部では中学校でやり切った感があったので、高校ではミーハーではありますが男子バレーボール部やバスケットボール等々のマネージャーに憧れがあったので丁重にお断りさせて頂きました。そんな憧れもあったマネージャーですが、やはり部活動は自分が主体でやりたいと思い、バレエをやっていたこともあったので新体操部に入りました。当時男子の新体操部があり男子は全国に毎年出場するほどに強く千葉県内でも有名でした。

友人も沢山できて充実した楽しい高校生活を過ごす中で、高校1年生の終わりにふと“このままでいいの？”漠然とした将来の夢もあったのですが、それに向かって進んでいるわけでもなく”その時楽しいのが1番“のように日々過ごす中で違和感を感じていました。高校2年生になり、ある朝のホームルームで担任の先生より“富津ロータリークラブを通して姉妹都市であるアメリカのカールスバッド市に留学する学生を募集する!!”とのお話があり、それを聞いた私はすぐ両親に話し次の日には担任の先生にお願いしました。なぜ私がすぐにアメリカ留学を決めたかというと、中学校の頃ちょうどテレビで“オレゴンから愛”というドラマが放映されていました。9歳で両親を亡くした主人公がオレゴン州に住む叔母夫婦

に引き取られ、オレゴンの雄大な大自然・人々に触れながら人間として成長を遂げるお話です。それを見ていた私は、外国への憧れ、英語を話し海外のお友達との交流を真剣に思い留学セミナーに行ったりしていました。しかし中学生だった私にはまだ勇気もなく”今は無理かな“と思った私は、海外の人と文通だけでもしてお友達を作りたい！！と思いアメリカの中学生の女の子と文通をしました。でもあまり長続きはせず自然と終わってしまったように思います。数週間後、担任の先生より“玉井さんに決まったよ”と告げられ“本当に？！”びっくりしたのを覚えています。応募者も10数名いると聞いていたので、あまりいい成績ではなかった私が選ばれるとは思っていませんでした。学内選考で決まったとはいえ、ちょっと不思議に思った私は担任の先生になぜ私に決まったのか尋ねると担任の先生が“職員会議で全員一致だったのよ!!玉井さんだったらホームシックにならない！！と、ちょっと理由が微妙でしたが、この時ばかりは自分の明るさ、物おじしない性格に感謝でした。ここから約一年ロータリークラブの交換留学生として海外に行く為に千葉県中のロータリー留学候補生と共に毎月集まり研修をしました。(前後中略)

まだまだお話しきれないものも沢山ありますが、素晴らしいこの留学を経て、初めは話す事も出来ず、日本の家族、友達が恋しく泣いた日々もありましたが、アメリカで出会った素晴らしい家族、友人に守られ助けられました。本当に数えきれない程の素晴らしい体験、素晴らしい人達との出会いの中で日本では守られ過ぎていて築くことが出来なかった事、学ぶ事が出来なかった事を留学先のアメリカで学ぶ機会を与えて頂いた事に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

このアメリカ留学は、私の人生の第一の転機であり私の人生に大きな影響を与えました。そして、第二の人生の転機があるのですがこちらは次の機会にお話しさせて頂きたいと思います。私のつたない卓話でしたが、お聞き頂きありがとうございました。

会員報告

山下 厚 会員



皆様こんにちは！続・ウシのきもち、ヒトのきもちを出版させていただきました。宜しくお願ひ致します。

会員報告

若鍋武良 会長エレクト



会長エレクト研修セミナー（PETS）が2回に亘り（第1回は3月18日に千葉市を会場で、第2回は3月25日にオンラインで）開催されました。第1回セミナーでは、午前中は、2023-24年度RI会長テーマの発表と鶴沢ガバナーエレクトによるRIテーマの解説及び地区運営方針が示されました。午後は各ブロックに分かれての意見交換会でした。第2回セミナーは、オンラインによる開催で、各委員会の委員長による次年度の活動方針が示されました。

2023-24年度のRI会長は、英国スコットランドのゴードンR. マッキナリー氏（サウス・クイーンズフェリー・RC）で、米国フロリダ州オークランドで開催の国際協議会で、2023-24年度会長テーマとして『世界に希望を生み出そう』（Create Hope in the World）を発表しました。

マッキナリー次期会長は、「私たちの目標は、破

壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。」と述べました。また、タイで出会った一人の女性の話を紹介し、2004年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリーの会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を亡くし生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏に美しい貝殻をプレゼントしました。彼女はロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことが出来たと話した。マッキナリー氏は「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています。」と述べています。マッキナリー氏のRI方針は、以下の5点です。

- ・平和の推進「平和とは希望が根付くための土壌です。」
- ・継続の力 過去のリーダーの取り組みを継続する。
- ・ロータリー全体でDEI（Diversity, Equity & Inclusion多様性、公平とインクルージョン）を強調し取り組んでいく。
- ・過去1年間、世界各地でポリオ症例が再発している。ロータリーがポリオ根絶をリードする。
- ・新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題に取り組む。

地区のテーマ 2790地区の次年度テーマは、「エンゲージメントを育もう」です。ロータリアンとしての約束や使命を理解し、ロータリー発展のために尽くし、自己研鑽に励もうという趣旨です。

ニコニコBOX

渡辺哲夫 親睦担当部員



須藤 隆 山下さんの「ウシのきもち、ヒトのきもち」発行に敬意

白石幸久 //

平川恵敏 //

岡田良弘 //

渡辺哲夫 //

相川恵津子 //

神子さん、飯島さんの卓話を聞かせて
いただいて

神子 恒 卓話をさせて頂きました

飯島由美 卓話をさせて頂きました

石渡 鋼 遅ればせながら、良くぞヤツタ侍ジ
ヤパン

高橋裕之 乳頭温泉に行って来ました

山下 厚 卓話を聞かせて頂きました

小野恒靖 山下さん出版おめでとうございます

* > 1,000円 計 12,000円

出席報告

久保顯彦 出席担当部員



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	23/29	15	0	3	79.31%
前回	24/29	16	0	2	82.76%
前々回	21/30	12	0	2	70.00%



例会終了後、当クラブ設立 30 周年記念で植樹された吉野桜を富津中央公民館に見に行きました。



椎熊会員より春の風物詩シロウオをいただきました。

本日の食事

